令和６年度　平鹿中学校　学校経営の全体構想

秋田県学校教育が目指すもの

南の学校教育の重点

校　訓

自律共生

横手市の教育目標

家庭や地域の願い

学 校 教 育 目 標

自らを磨き、仲間と共にたくましく伸びる生徒を育てる

平鹿中の合い言葉

日々、成長！　～種から発芽、そして開花へ～

目指す学校像

・個のよさを伸ばしながら共感的人間関係を育む、「誰一人取り残さない」学校
・生徒がしぶとく活動に取り組み、成長力に充ちている学校
・地域と共に、生徒の未来を展望し、協力してその実現を図る学校

目指す生徒像

・自己肯定感と自己有用感を高め、将来に生かす自分のよさを一層伸ばそうとする生徒
・他者を尊重し、折り合いを付けながら、「緩やかな絆づくり」に取り組む生徒
・社会、地域、自己の未来像の実現に向け、逆境を越えながらしぶとく前進する生徒

目指す教師像

・一人一人のよさを認め居場所をつくり、温かで活気あふれる集団に導く教師
・研鑽と協働により指導力を伸ばし、「HIRAKA TRY Angle」を育む教師
・「社会に開かれた学校」の実現に努め、家庭や地域と協働し生徒の成長を支援する教師

本 年 度 の 重 点 実 践 事 項

授業改善を核とした、全ての生徒が登校を楽しみにする学校づくり

自らの学びを創る生徒の育成
～生徒が自ら考え動き出す授業づくり～

○「HIRAKA TRY Angle」(「学びを生かす力」「進んで関わる力」「自分の言葉で表す力」) の育成
・「？」から始まる授業展開　・共生タイム
・１人１台端末の効果的な活用
・学校図書館の計画的な活用及びＮＩＥ推進
○「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
・一人一人の多様な学びを引き出し、個別最適な学びと協働的な学びが自然な形で往還される単元構想
・自ら必要な学びを生徒自身が判断し、実行できる（学習の個性化）学習活動
・教科リレーショントーク　・学習サポート

個のよさの伸長による温かで
たくましい人間関係の醸成

○発達支持的生徒指導の推進
・生徒指導の実践上の視点を踏まえた授業及び学級づくり
・チェックリスト　・生活アンケート
○自他のよさや弱さを受け止め、互いを尊重する「緩やかな絆づくり」
・よさの自覚から始まる「自信」「自己有用感」「しぶとさ」の形成
・よさを伸ばす三つの「発」
（発掘・発見・発揮）
○組織的な校内生徒指導体制の構築と家庭・地域・関係機関等との連携・協働の充実
・不登校ミーティング　・ほっとルーム

特別支援教育の充実

○特別支援教育の目的や意義の理解を図る研修
○「困難さ」に応じた計画的組織的な指導・支援
○個別の教育支援計画を踏まえた指導
・サポートミーティング
・外部機関の活用

ふるさとに根ざした
キャリア教育の推進

○キャリア教育のねらいの共有と成果の発信
○育成する資質・能力を明確にした体験活動の充実
○キャリア発達を一層促すための地域・学校間・他校種間連携の推進

連携・協働による社会に
開かれた学校づくりの推進

○経営ビジョンの明確化・焦点化と家庭、地域との共有
○ＣＳにおける、目指す生徒像を共有し連携する社会に開かれた学校づくり
○小中連携による学びの継続を図る情報共有と教育実践

学校教育の活性化を支える教職員の共通理解と実践

○組織のレジリエンスを高め、新しい時代の学校文化の構築を目指す、質の高い教職員集団の形成
○秋田県教職キャリア指標の各ステージで求められる資質能力の向上を図る研修の充実
○生徒のウェルビーイングを高めるための、教職員のウェルビーイングの確保
○市指定事業を契機とした、生徒一人一人の能力・可能性を伸ばす教育の実現に向けた共同研究